

様式第3号(裏面)

指名理由

| 番号 | 表示項目 | 選 定 理 由 |
|----|------------------------|---|
| 1 | 特殊工法 | 工法が特殊であるため、特殊な設備又は技術を存する者として選定した |
| 2 | 緊急工事 | 災害応急工事等緊急を有する工事なので選定した |
| 3 | 災害復旧工事 (範囲外対応) | 応急工事以外の災害復旧工事で、入札参加可能範囲外から選定した |
| 4 | 特別事情による業者不足 (範囲外対応) | 特別の事情により、指名対象業者の所在地が限定され、その地域内に入札参加可能範囲内の業者が不足又はいないので、入札参加可能範囲外から選定した |
| 5 | 当該建築物関連業者 | 建築物に係る補修工事(附帯する設備工事を含む)で、当該建築物の施工等に関連のある業者なので選定した |
| 6 | 一般的工事 | 一般的な工事なので、前記1～5までに該当する者以外の者を選定した |
| ⑦ | 単独随意契約 | 単独随意契約の相手方として選定した |
| 8 | 新規事業 | 新規事業であるが、施工能力があると認めため選定した |
| 9 | その他 | |

随意契約とする理由

| 番号 | 表示項目 | 選 定 理 由 |
|----|------------|--|
| 1 | 特殊工事 | 特殊な技術、機器又は設備等を必要とする工事 |
| 2 | 緊急工事 | 災害又は施設等の緊急復旧等、緊急に施工が必要な工事 |
| 3 | 継続工事 | 前工事に引き続き施工される工事で、工期の短縮、経費の節減等が確保できる等有利と認められる工事 |
| 4 | 他発注者との交錯工事 | 他の発注者の施工中の工事と交錯する工事で、当該施工者に施工させた場合、工期の短縮、経費の節減等が確保できる等有利と認められる工事 |
| ⑤ | その他 | 上記工事にあてはまらない工事 (発注者支援業務) |

※ 様式第3については、表面が入札(見積)執行調書、裏面が指名理由、随意契約とする理由書として両面刷りで使用することとする。